

事務事業名	除雪機械整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	公共維持G	課長名	西川 徹
	施策名	(12)生活道路の整備	担当者名	福間 伸英	電話番号	0854-40-1062
	目的	対 A)市民(道路利用者) B)生活道路(市道)	意図	市内を安全に移動できる。	(内線)	2473
	基本事業名	(036)生活道路の維持管理	予算科目	会計 014002 大事業名 除雪施設等整備事業	中事業名	除雪機械整備事業
目的	対 道路利用者	意図	安全に移動できるように道路を維持管理し、情報を発信する。	項目	103002 中事業名	除雪機械整備事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・機械機種調査 ・取り扱い業者調査 ・入札の実施 ・契約 ・納入検査

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動) 導入機種、管理体制等について入札の実施、検査、精算、納車	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 導入後の有効活用 H28は起債事業で2機導入 ・タイヤドーザー8t級1機 ・バックホウ3t級1機			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	タイヤドーザー8t級導入台数	機	4	0	0	1
イ	タイヤドーザー5t級導入台数	機	1	0	1	0
ウ	ブルドーザー4t級導入台数	機	0	0	1	0
エ	バックホウ3t級導入台数	機	0	0	0	1

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	40,055	39,472	38,990	38,968
		イ	除雪対象路線延長	km	705	705	705	705
		ウ	除雪機導入台数	機	6	0	2	2
ア	人口【国勢調査(推計)】	人	40,055	39,472	39,458	38,968		
イ	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	55.4	58.0	60.0	59.0		
ウ	除雪機導入台数	機	6	0	2	2		

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
<ul style="list-style-type: none"> ・除雪用タイヤドーザー5t級(1機)5,443千円 ・国庫補助3,629千円、起債1,700千円 ・除雪用ブルドーザー4t級(1機)8,640千円 ・国庫補助5,760千円、起債2,700千円 ・導入に係る諸経費206千円 	財源内訳	国庫支出金	千円	32,842	0	9,389	0
		県支出金	千円				
		地方債	千円	22,900	0	4,400	30,000
		その他	千円				
事業費計(A)		千円	59,531		14,289	31,826	
人件費	正規職員従事人数	人	3		1		
	延べ業務時間	時間	200		80		
	人件費計(B)	千円	779		313		
トータルコスト(A)+(B)		千円	60,310		14,602		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> ・建設業者の減少や縮小に伴い、除雪機械台数は合併時と比較すると約30台減っており、除雪機械の更新は業者にとって高いハードルとなっている。そのため、市所有の除雪専用機械を導入し、除雪能力を向上させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は2台の除雪機を購入し、除雪体制を強化した。 ・今後も計画的な除雪機の更新や導入が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、議会から豪雪時や除雪作業について、迅速な対応を図る除雪体制の強化を求められている。

事務事業名	除雪機械整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 ・隔年での導入計画を立てているが、業者数の減少や縮小に伴う機械台数の減少により、除雪機械が不足する場合は、市で除雪機械導入を検討する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 ・業者数の減少や縮小により、除雪機械台数の減少が見込まれる中、事業を廃止した場合、安全な道路網の確保が困難となる。 ・緊急車両等が目的地に到達しない可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 ・統廃合できる事業はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・業者保有台数が減少する中、市所有の除雪機械を増やさなければならず、削減の余地はない。 ・競争入札を行っているため、これ以上の単価削減も困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・市として必要な除雪機械の導入であり、委託はできない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 ・受益者は、不特定多数の道路利用者のため、公平であり、受益者負担もない。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> ・業者数の減少や縮小により、業者借り上げ機械台数の減少が見込まれるなか、事業を廃止した場合、安全な道路網の確保が困難となる。 ・平成25年度に除雪ドーザー6機を新規導入し、合併時と比較して除雪能力が大幅に向上した。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<ul style="list-style-type: none"> ・業者数の減少や縮小により、業者借り上げ機械台数の減少が更に見込まれる。これらの対処として、業者保有機械に対する維持管理費への助成増や、雲南市所有機械台数の増を進める必要がある。そのため、平成25年度に6台、平成27年度に2台購入し、市が所有する台数(リースを含む)は、合併時より19台増となった。今後も計画的に更新(導入)していく。 ・歩行用除雪機も平成25年度に2台購入し、合併時より12台増となっている。 ・導入機械の有効利用のため、オペレーター確保対策が必要である。 																								